

# 有宵会だより

第76号  
発行所  
特定非営利活動法人  
岳易館・有宵会  
編集 広報部  
松戸市新松戸1-64

## 九星と易断による

### 八月・九月の運勢

気学では申八月

八月七日（立秋）節入り

4	9	2
3	5	7
8	1	6

破

天道

気学では酉九月

九月七日（白露）節入り

3	8	1
2	4	6
7	9	5

ア

破

天道



### 一 白水性の人の運格

八月筮一山水蒙の上六  
九月筮一天水訟の初六

八月は何事にも慎重に処理。先を急いでも結果は出ない。攻めるより守りを固めて安心、家族の対話と思いやりが絆強める。消費多い抑える。人の話から知識や情報入手。頭痛や関節の疲労回復を。九月運は容易に見えても案外複雑で手こずる。仕事・金運は足元を固める。新規の用件頭打ちで伸びず。異性への愛情は期待高く夫婦愛は深い。胃腸と腹具合、持病対策。

### 二 黒土星の人の運勢

八月筮一兌為沢の九四  
九月筮一火地晋の六五

八月はわが家の懸案に取り組む。女性の意見を参考に吉、行事と古い仕来たりを大事にする。交際面は過去に拘らずこれからが大切、日頃の勤勉さで平穩に過ごして安泰。風邪に気管、排泄快適に。

九月は新たに進める事柄は大ならず小事は成就

### 三 碧木星の人の運勢

八月筮一火地晋の六一  
九月筮一水山蹇の上六

八月は伸び伸びと進むが暑さ負けに用心を。予定日待たず先走る気忙しさあり。信念が良いが意地固いと損をする。愛情の告白は早いほど良い。財運に関心がより研究心のどと声帯、胃肝の検診。九月は要注意の点あり公私にやり過ぎとお節介事は裏目に出やすい。金運はムダ省き貯蓄心、外部の批判と噂に弱いが渦中に入らず交際慎重に。感染症、食道、腸炎対処。

### 四 緑木星の人の運勢

八月筮一地水師の上六  
九月筮一水火既済の初九

八月は前月の忙しさが

### 五 黄土星の人の運勢

八月筮一沢山咸の上六  
九月筮一火天大有の九三

八月は平穩さを大事に続ける。内部充実を図り新知識を吸収し充実、適度の休養が必要なとき。意見の無理押しは協調を欠く。用事は伸びる傾向なので焦らず慎重に待機。過労続く胃腸疲れに対処。九月は明るさを増し活気が出る。調子に乗り勇み足になりがち。着実な目標設定で成果を上げる。上長の助言や支援に恵まれるが感謝忘れずに。夏疲れに食欲と精神安定を。

### 六 白金星の人の運勢

八月筮一沢地萃の六一  
九月筮一風火家人の上九

八月は前月の忙しさが

### 七 赤金星の人の運勢

八月筮一離為火の九三  
九月筮一火雷噬嗑の六三

八月は肩の荷を解き快活にいききたいもの。笑う門には福来るで、福を呼ぶ開運を考えてみる。交際には若気の至り老練な答えが円満にいく。くじ運や懸賞など面白い。口腔歯、気管とせき対策。九月は表面より内部に変化が生じやすい。伸び悩んでも投げずに辛抱が肝要。物事を長期と見て山や谷の歩みと受け留める。金運停滞に舌禍注意。感染症、腸系、歯に用心。

### 八 白土星の人の運勢

八月筮一地山謙の六四

八月は前月の忙しさが

### 九 紫火星の人の運勢

八月筮一雷沢帰妹の上六  
九月筮一水火既済の六四

八月は向上意欲が高い迷わずに進める。知的な人との交流や見聞を広める有意義さに吉。後手に回らないように心掛けておく。消費押さえて得をする、対話不足損のもと頭部、視力と歯周病用心。九月は自分に合わない、陽が当たらない仕事でも忍耐で成就。労多くして益少なしの奉仕精神でいけば評価が高い、紛糾問題はリーダーに任せる、信用を大事にする事。冷え風邪、聴覚大切に。

福田 有宵

### 五月有宵会報告

岩崎 紀子

五月三十日(月)勤労福祉会館ブルミエにて、NPO法人岳易館・有宵会例会が開催されました。佐藤宗眩先生の司会により、第一部は、パソコン教室を経営しておられ、情報技術にお詳しい木村達彦先生の「Eの活用について」、第二部は、福田有宵理事長による「開運の方法論」のご講演が行われました。また最後には、福田会長による「個人の月筮」の解説がありました。



### 第一部 「E」の活用について

木村達彦先生

#### はじめに

現在、Eの活用をされている方は多くいらっしゃると思います。皆さんにご質問ですが、メールとE文を使われる方

はどの位いらっしゃるのでしょうか？ 結構いらっしゃると思います。

私は現在、E文の使用を止めています。これまで職業柄E文を使用してきまして、プリンターインクや用紙を買ってこれという営業のE文しか入ってこず、仕事でのE文利用は年間1件あるかないかです。そのため、自分の名刺にはE文番号を入れていません。E文で情報を送りたいという方に対しては郵送での対応をお願いしています。私としてはメールでの情報のやり取りを希望しています。

Eとはインフォメーションテクノロジーの略ですが、カタカナの言葉が多く、理解するのが難しく、印象を受けるかと思えます。ですが、実際はそれ程難しいものではありません。



### Eを使うことによる利便性と弊害

デジタルデバイス(情報格差)という言葉があります。これは、Eを使う人とそうでない人との間に起こる格差をいいます。この問題は人だけでなく、国家の間にも生じています。

私は今月タイに行きました。色々な用事はアイフォンを秘書がわりに活用し、済ませていきます。タイでインターネットを使用すると1日2600円の費用がかかります。高額です。そのため、タイで使えるワイファイの機械を借りており、1日500円で使えます。しかし、情報処理速度が遅く不便です。明日の天気を調べると10分待たなければなりません。このような状況では使う方も嫌になつてしまいます。使う気になりませんよね。

このコンピューターのネットワークが様々ある中、使ったり、使わなかったりすることで起こる情報格差がデジタルデバイスです。インターネットが普及している日本においてE

を使わないと損をします。ぜひ使ってください。使えないと思うことはありません。

総務省の情報白書では、インターネット人口の普及率が2003年では64%であったのが、2014年では82.8%に上昇しました。しかし、国民の20%は使っていない状況です。この中には、小さい子どもさんなども含まれると思います。

これからの情報格差  
A: デジタル機器を持っている人  
B: いない人  
A: デジタル機器をテキスト使いこなせる人  
B: デジタル機器をテキスト使いこなせない人

AとBの間に生じる待遇や貧富の格差がこれからの情報格差です。例えば会社を営んでいる社員を雇うというとき、パソコンを使える人と使えない人であればどちらを雇うでしょうか。同じ給料を払うのだったら、パソコンをバリバリと使える人がいいですよ。

これが昔のことであれば、一から教えて何年もかけて育てていくという方法もあったのですが、

今の時代ではパソコンを使えなければ就職には不利です。

現在は就職にあたって、まずエントリーを行いますが、これはパソコンにて行い面接の日程を決めたりします。昔のように履歴書を会社に送付するということはしませんので、そこですべてを使えるかどうかをふるいにかけられます。

インターネットは1998年ウインドウズ98が出た頃から普及し、それから二年くらいして企業で使用され始めました。社員は仕事上でメールを送る等の処理ができることが必須になりましたので、五年前にはパソコン教室に多くの人が詰め掛け、各教室は全盛期を迎えました。

その時代を経て、現在パソコンを使えない人はほとんどいなくなりました。メールは使えるけれども、例えばワードというソフトで作った書類をメールに添付して送信できるという方はどれくらいいらっしゃるでしょうか。これはパソコンを使用する必要があるため、携帯電話

でメールを送る際に書類を添付することはできません。

この使える・使えないという格差をなくすにはパソコンを使う必要があります。初めは作業に時間がかかってもいいと思います。

### フューチャーフォン(いわゆるガラケー。以下ガラケーと表記)とスマートフォン(以下スマホと表記)の違い

携帯電話は世界各地に普及しています。その中でもスマホが爆発的に広まっており、現在スマホは世の中に随分普及してきました。

その中でガラケーを使用している人も多いと思いますが、スマホに替えない理由はどこにあるのでしょうか。まず月々の利用料金の違いがあります。これは大きな理由です。ではガラケーとスマホの違いはどこにあるのでしょうか。

引き出せる情報量が圧倒的に違います。スマホから受け取れる情報量は多く、とても便利です。そこが両者の利用料金の違いです。

ガラケーの情報処理速度は遅く、画像がゆっくりにかたまり、動画を見ようとしても見るまでかなり時間がかかります。対してスマホは、画像はボタン一つで一発表示され、動画もすぐ再生されます。そのくらいのスピードの差が出てきます。

今では、外見はガラケーでもスマホの機能をもった商品も出ています。この場合は通常のスマホより料金は各社安く設定されています。

画面の大きさの違いがあり、スマホは画面が大きいので、見やすいです。タッチパネルの有無と操作方法の違いがあり、スマホはタッチパネルを使用し、ガラケーはボタンを使用します。

耐久性の違い。スマホは画面がむき出しですが、ガラケーは二つ折りですと画面が守られています。そのためスマホはケースを使用します。

HPの画面の見え方の違い。ガラケーは文字が多く表示されますが、スマホはパソコンで表示されるHPより画面は小さいものの情報の表示内容

はほぼ同等です。したがってスマホのほうが見やすいです。

メールの機能は、ガラケーは主にショートメールや短い文章を送ることになります。スマホは長い文章や写真、動画も送れます。

私にも孫がおり、お嫁さんが短いですが動画を頻りに送ってくれ、喜んでいま



**スマホ、タブレット、パソコンの比較**

情報機器にはスマホ、タブレット、パソコンと多くの種類があります。私は仕事で経理伝票などを作る場合以外はパソコンは不要だと思っています。趣味で使用する場合でも、新聞を作ったり、インターネットで細かく情報発信する場合はパソコンが必要ですが、それ以外で使用する場合はスマホで十分対応できると思います。例えば私が今行っているプレゼンテーション（画像をスクリー

ンに映し出すこと）もスマホでできます。

現在パソコンはかなり進化しており、通話できたりテレビになったり、音楽にしても音が非常に良いなど、他の家電に代わる機能を備えており、ホームツールの役割を果たすようになってきています。

パソコンは画面を見ながら作業できます。動画を頻りに送ってくれ、喜んでいま

みることもできます。複雑な計算や図面を作るソフトを入れて複数の作業を同時に行うことができます。

入力にはキーボードを使い、机上で使うことも持ち運ぶこともできます。ソフトを入れることによって通話もできます。

タブレットパソコンは平面の形態でタッチパネル式などの表示で入力もできます。いわゆる携帯可能なパソコンです。パソコンが小さくなったもので、機能はパソコンとほぼ同じです。

しかし、複数（約三つ以上）の作業を同時にすることはできません。

タッチパネルなので、大量の入力には不向きです。写真を取れます。ソフトを入れることによって通

話もできます。大きさは6〜11インチで、バック

に入ります。重さは200〜300グラム。画面は大きいので見やすいです。スマホと一緒に契約すれば安価で使用できるプランもあるので、検討の余地はあるかもしれません。

スマホは、上記二つとほぼ同じことができます。なおかつ電話ができます。三つの中で電話ができるのはスマホだけです。

通話と電話の違いは、電話は相手の電話番号にかけて話をするので、通話とは、よくいうライン通話です。お互いにラインのIDを交換する必要があります。

スカイプもお互いにIDを交換します。その場合にはお話できますね。

スマホも、タブレットもパソコンもほぼ同じ機能が使えるので、私が皆さんにお勧めするのは、パソコンよりスマホを使う方が良いでしょう。今ガラケーをお使いであれば、思い切ってスマホにしてみたいかがでしょうか。

使いこなせることができれば、スマホは本当に便利です。

**なぜI を活用するのか。**

Iとはインフォメーションテクノロジー（情報技術）といえます。インターネットを利用した情報サービスの技術。コンピューターと通信技術あるいはその活用の総称です。

I とビジネスの関係は、I は距離・時間、といった今までのビジネスにとつて大きな制約を緩和させました。さらに世界や日本どこにいても同じ条件で新しい通信回線が利用できるようになれば、

これまで大都会に住んでいなければできなかったビジネスが地方都市においても可能になる。というのが大まかな考え方です。自分も岡山県倉敷市出身で、近い将来倉敷に帰ると思います。現在パソコン教室に通ってくる生徒はいませんが、パソコンの調子が悪い、HPを開きたいなどの依頼は毎週のように入ってきます。その依頼に対しては会わなくても十分対応できます。

HPであればどんなHPにしたいか難題を相手からメールで送ってもらい、

後はスカイプで通話して相談すればいいのです。顔と顔を見ながら話ができますので十分です。なので、倉敷でもこれらの依頼は対応できます。

ただし、パソコンの調子が悪い場合は大変です。パソコンが起動しないと、コンセントが抜けていた例もありました。そういった特殊な場合を除いては、パソコンが起動さえしていれば何とか対応できます。リモートこちらが相手のパソコンに入って操作できます。

**このままで四割が消える。攻めのI を後押しする訳**

現状のままであれば、日本の会社の四割が消えるといわれています。

I を活用するには攻めなければいけない、このままではだめです。勝ち残るには戦略的なI が必須で、I を活用しなければビジネスは先細りします。

現在、インターネットが普及したため、デタラメな占いが蔓延しているという話題が増えていると聞いています。でも、情報を発信したほうが勝ち

です。そして情報を発信し続けるほうが勝ち。しかし、むちゃくちゃな情報を発信してはいけません。情報を発信するときに責任を持たなければいけません。

HPには新しい情報を載せましょう。例えば十年も前に作ったHPをそのままにしているのはだめです。HPにお金をかけなくてもいいのです。HPは常に更新を心がけ、今日の情報を載せてください。見せ方がすばらしいということではなく、常に新しい情報を発信してください。これがIを使つて攻めるということになります。

### 情報発信のためのツール三種

情報を発信できるツールとして大いに流行っているのが、フェイスブックです。これはスマホではなくガラケーでもできます。ガラケーを使つて情報発信できるツールとして発展したのがこれです。情報発信できるツールとしてもう一つにラインがあります。現在私への仕事の依頼はラインで入ってくる人が多いです。これはラインに既読ツ

ルが入っているからで、送った情報を相手が読んだか確認できるので便利です。皆さんも占いのご相談を受ける際にラインを使っている場合があると思います。

もう一つにツイッターというツールがあります。これは一時期ブームになりましたが、私はツイッターを最近あまり使っていません。自分のツイッターにはフォロワーが120人位おり、情報発信すると多くの方からの反応が返ってきますが、人数が多いので相手に反応できません。自分が情報発信するだけで、相手に対応できないのです。なのでこのツイッターは自分はこのことからこういうことをやりますよ、というお知らせにしか使うことができません。これはこれでいいのかもしれないけれど。

話はフェイスブックに戻りますが、フェイスブックはターゲットを絞って宣伝できます。例えば店舗のある松戸市近隣地域において三十代女性向けの商品を販売したい。その場合、フェイスブック

を使つて宣伝できます。新聞の折込チラシより効果があります。松戸市の新聞に折込チラシを入れると1回に36万円かかります。対し、フェイスブックに載せるのは76円です。このように様々なツールを使つて宣伝をすることができま。I を使い倒しましょう。

最後に、インターネットやスマホはヤル気と根気が必要です。これはIの活用の基本です。ありがとございしました。

### 第一部 「開運の方法論」 福田有宵理事長

開運とは、一般の人であれば、ズバリ運が良くなること。辛いことがあればそれを乗り越えるパワーを頂きたい、願いたい、生きている、生活している私達の中で開運したいという願いの種類はさまざまです。



運命とは、人間の意志を

超越して人に幸・不幸を与える力であります。運命とは将来の成り行き。運命学とは将来を予知すること。将来を予知するには一足飛びに十年先のことを予知するわけにはいきません。現在があるのですから。現在は過去から来ております。時間の連続性といいますが、連続の時間の中にどういう運を与えられてきたのか。そこから始まり、その次に予知があります。

運命と同じ意味を表す言葉はいくつかあります。「天命」「天運」「宿命」「宿運」「命数」。「暦数」は「れきすう」とい

い暦の数ですが、これも一生や運命を表します。「星」はこれだけでも運命の意味として通用するようになっています。「巡りあわせ」「行く末」なども同じです。

### 運命の格言

人間の一生を支配するものは運であつて知恵ではない(古代ギリシャの哲学者キケロ)

天はすべての人間から運命の帳簿を隠す(人間についての試論より/ホーブ)

天とは運命です。帳簿とは裏に置いて隠しておくものです。運命は神の考えるものだ。人間は人間らしく働けばそれで結構だ(夏目漱石)

漱石先生は文学者の中では運命論に関して一つの考えを持っております。先生の文学は現在でも今の時代に復元できます。

内容は主に人間関係、親子、夫婦関係。主に三角関係の内容を取り上げています。一対一の場合は分かりやすいですが、三人四人と絡んできた場合の運命というのは計り知れないほど変わって行きます。ぜひ本を参考にしてください。

また、先生の写真は笑つておられるのではありません。少し頭をかしげて、右の方に身体を倒している。そういうポーズの写真が知られています。胃が悪くて、胃がんで亡くなられています。胃を患う方はストレスがたまりやすとか、思いつめるとか、あるいは自分自身をギョウギョウ責めるような一面があります。そういった精神的な面が身体のごに現れるか、まず胃な

んです。次に胆のうです。命を知る者は天を怨まず。己を知る者は人を怨まず。(中国の格言、説苑、淮南子、孟子)

中国では天を尊いものとし、社会生活をしていく場合、人を怨むとか、人に対してどうこうという問題が出てきます。

汝の運命の星は汝の胸中にあり(作家・シラー) 運は自分で作っていくものであることをいっています。

以上、要は運命は自分の手に負えないな、とらえてください。

### 運とは

文字の右側に軍という字があります。軍とは歩む、走る、動くことらえます。運という字は人の集まり、動きの中から生じてくるという字の生ま

れがあります。めぐる、まわる。天命、人事の機会、地の南北。大地の地図には南北があります。運を東西南北に分けた場合、天地は南北です。これは南は天であり、人の手に負えないもの。人の範疇にないものです。北は地です。開運とは運が開けること、幸運に向かうこと。

人の願うところはさまざまであり、運の定義もさまざまです。精神・心の安らぎ（精神の安定）、物質を手に入れることの喜び。心を求めるものと、生活のために求めるもの、二種類に分けられます。

五術について

運命学には「命（めい）、ト（ぼく）、相（そう）、医（い）、山（さん）」の五術があります。

命は、先天として生まれたときから定められているもの。

生年、月、日、時間による宿命。四種類の時間からどのような宿命が与えられているのか。

ここで宿命という言葉が出てきましたが、宿命とは生まれながらにして変えられないものであり「不変」といいます。

運命とは自分で変えてゆけるもので「可変」といいます。というのが本来の定義ですが、現在、一般社会では同じ意味にとらえられています。

本来は違いますが。宿命とは決められたこと。それに徹することが必要。運命とは決められた部分はあるものの変えていける部分もあるもの。運命学はこの

二種類です。

トは未来の吉凶を判断する。相は容形を視る。観察する。地相、家相、観相等。

医は漢方の方劑と鍼灸。山は、超能力開発のための仙道。

開運のアドバイスにあたり、目で見えるもの、見える部分を変えてあげると相談者は納得します。目に見えない部分についてお話しても相手はピンと来ないのです。

命の場合、命によってその人の一生の流れをとらえる。その中でアドバイスします。過去にこのよくなことをしてきたからこれからこのように改善しましょう、切り替えて行きましょうというアドバイスになりますね。

命は性格、体質、対人関係、職業、適職などを事前に察知し、人生のチャンスを得る機会を知ることができます。

相においては、姿を変えることによつて運が良くなる。という大変分かります。その観点から研究されている分野です。相は良いとされる基準で裁定する。例えば、

地相、家相の良いとされる基準を示し、それに近づけるよう指導することです。

トは、人生の岐路、生活上の変化の際の吉凶を求めるもの。易やタロットの一部がこれにあたり、人生に迷いが生じた時にどちらが良いか決めます。

この他では気学では吉方を求めるという方法があります。ただし、気は目に見えないので、相談者に良く分からない部分があります。

この中から私たち専門家は何を選択して、相談者をどう開運に導いてゆくか。研究をしていく必要があります。

地相・家相

生活し最も必要とするところ。今回熊本で地震の被害がありました。

災害は誰も想像のつかないものです。災害の一人称は、自分が被害を受けること。二人称になると身内、親族、友人、知人が被害を受けることで、何とかしたいと実感するものがあります。

三人称は他人。他人の身に起こったことは冷静でいられます。地相は古く奈良時代に

渡来した風水を原点とします。四神相応とする判断法で、地形、地質、五行の気等を参考にします。

家相は風水地理を基礎として、日本の自然環境に適合するように成立したものです。日本は北から南までそれぞれの地域・風土が違つてきますが、

地相でもそれぞれの地域によつて違い、気も地域によつて異なります。

家相の間取りは現在、和洋折衷のお宅が多いですが、この場合の開運方は以下の2つです。

比較

基準とは別に、この居住者がもつとも適した具合はどういう家相であるか。という判断。

開運には基準のほかにその人に合わせた開運方法が必要。基準をもうけながらその人の人となりを見ることが大事。応用です。

人相

笑顔は陽の気をもちます。陽は精神。陰は肉体。笑顔は心から行うことで物心両面に与えられるものがあります。人相では長所、短所を学び知る。長所は伸ばし、短所は補うこと。私の師

であった大熊茅揚先生は主に女性を対象に開運美容法をしており、お化粧によつて運を変えていくというものです。顔の中のプラスマイナスの部分を明らかにし、マイナス部分を補うものとしての開運法でありました。

陽の気を入れるには口元であれば口角を上げる。顔の中で動く部分（目、口、頬）が陽です。動かない部分が陰です。ですから動く部分を取り上げなくてはいけない。動くところをお化粧し、強調します。

続いて食養について、これは江戸時代の水野南北先生が「修身録」という本を書かれておられます。運が悪いときはどうしたらよいか。先生は腹八分目で三度三度の食事を時間決めて食べると良いといひます。時間を決めていない、時間がルーズになる職業はお金が入りましても出てゆきます。

二食の場合もあるでしょうが、現在では三食のほうが多いです。二食ですとどうしても夜食の方にウェイトがかかってしまひます。また、先生は食は質素に、

よく噛んで食べることが良いともいひます。腹八分は言いかえれば欲であり、欲をがまんできるかです。

もし、不運で嘆いている方が相談にきたら、こう言つてください。とにかく一年間食事を三度三度時間を決めて食べることを同じ量、同じ時間。これを一年しますと体調が良くなりまひます。心が変わります。五臓六腑と仲良くできます。

運が悪いといつて改名する場合があります。改名してプラスになる方もいます。改名したらその名前を表面上だけではなく、自身の身体の中に入れないといひませぬ。

姓名判断

印は財と身体を表します。印鑑が欠けるとそれは八方位のどの部分か調べ、その部位に怪我、病氣などが生じやすいです。印鑑は柘植が良いという流儀もあり、その他象牙、水牛が高価なものとして使われます。

印相

印鑑の用い方ですが、印鑑そのものをハード（体）として、皆さんの用い方をソフト（用）とする。毎月一日と十五日に印鑑

をソフト（用）とする。毎月一日と十五日に印鑑

「個人の月筮」  
福田有宵理事長

その一。

をきれいに拭くこと。そしてきれいなケースに入れて、御神前に置くという作法を繰り返すことによって自分の身を守るのです。日本の文化はサインではなく印鑑を用います。印鑑は自分の代理をしており、自分と同じです。顔はきれいにしても印鑑が汚れていてはだめです。どんな印鑑でもキチンと扱って。

また、印鑑を破棄するときは自分の値打ちを与えたものなので、粗末にはできません。

**墓相**は先祖の因縁や家系上のことを表し、因果因縁のご相談がきたら墓相が一つの答えの出方になります。

最後に、開運というところで、相談者は具体的な何かのしるしを求めたいと思います。まず、相を変えろ。嫌な顔より明るい顔がいいですね。開運はその人がぜひそうなりたいと思えば、実行することなのです。たとえばお参りに行って家族に良くなつて欲しい、自分は後回しでよい、という気持ちになった時、また開運も現れるのです。

られている。では、どのように待つか。需は食べること。まず、楽しんで

その二。

六月 巽為風の六三。人の往来です。人を訪ねたり、来て頂いたりという事が起きます。その中で喜びもありますが、同時に気を使うこともあります。六三ですと中旬頃に尋ねてくる人あり。巽為風は同じ仲間、同じ立場、同じ趣味を持つ人であるとかで、東南または北に住む非常に気の合う方がお見えになります。年齢では年下の方です。また、下旬頃には自分が訪ねることになります。身体では、風が二つあるので感染に注意。風邪や喉に気をつける。風邪を引くと身体が冷えます。また、この卦は電話を表し、先月より多く電話がかかってきます。要は気を使う月なので、前もって対策を立てておくといです。

六月 水天需の六五。需は待つこと。待たされることあり。内卦を当方とし、外卦を相手方とする。交渉事や話し合いは待つことになる。六五の場合は相手に力ギを握

られている。では、どのように待つか。需は食べること。まず、楽しんで我が家で食事をしましょう。親子や夫婦で何か話をする場合でも、食事をしながらの話し合いですと大した話ができなくなりません。それが良いと出ています。また、ご主人を外卦の坎と見ると、六月はご主人に重い仕事があるため、それを察してあげてください。

その三。

七月 天山遯。

自分のペースが良いです。ということ、自分でやらなければならぬ事があるのです。また、觀光地に出かけたりと気分転換をしたくなるのですが、それはよろしいです。

月筮は、お時間の関係で駆け足での解説となりました。

今回の有宵会では、木村先生には、スクリーンを使った誰にでも理解しやすい講義をしていただきました。また、福田先生には、さまざまな開運法をどう相談者へ役立ててゆくか、との貴重なお話をいただきました。お二人の先生、どうもありがとうございました。

「プレゼント」  
浅見節子先生

浅見節子先生

会の終わりに、浅見節子先生から本日の参加者に着物の布で作った手作りのお品がありました。このきんちゃく袋は、ミシンを使い、少しの布も無駄にしなれば喜んでくれるとの思いから作ったもので、皆でありがたくいただきました。また、日舞の先生でもある浅見先生は、獅子舞を踊られるなど足腰を鍛えておられるので、ご高齢ながらもなお元気で。本当にありがとうございました。

岩崎紀子



失せ物の実践例

今平 乾象

暮れの最も忙しい朝、定期入れの入っている小さな財布がいつもの置き場所に無い、紛失している事に気づき非常に慌てる。混乱のままその日の予定をこなし、その間昨

日の自分の行動を逐一書き出してみる。パスモを使って家に戻ってきた事は駅から家までの紛失か、家に帰ってからの問題であると考え。

占筮を試みる、火雷噬嗑の六二を頂く、心はよけいに不安となる、見つからない事もありうる。落ち着いて色々得卦について考える、火雷噬嗑は三陰三陽卦であり、否から来ていること、初爻に陽爻が現れた事で噬嗑となる、また二爻を頂いて火沢睽になつて見つからない。もし次、三爻に陽爻が来れば火天大有となること云う勝手な解釈をすることから、諦めずに動く(乾)ことで発見(離)出来る読む。火沢睽は「乾」が「坎」を包んでいる包卦であることも、見えない所に隠れている事が読める。

不安の中で書いた昨日一日のメモをもう一度読み直し、家に入る時ドアが気になる音を出している原因を調べているうちに、ネジが外れていることを発見して、ドアのネジを締め直していることを思い出し、ねじ回しをいれている引き出しを調

べる。その中に紛失していた財布が鎮座している事を発見(喜)火雷噬嗑には「失せ物」は発見しにくい、かみ砕く努力をすることで、紛れ込んでいた物も発見できると知る(笑)。

四国へ遍路の旅

海老原葵扇

『海老原葵扇さん』ご紹介します。

取手市の開催で、私の手相講座を講聴し占いに大変興味を持たれ、平成二十五年四月に入講しました。

その間、周易・気学・家相・相学・姓名学などと人一倍熱心に努力され取手教室の優等生です。また勉強だけではなく、人間性溢れる豊かな人柄に皆様からも親しまれています。

四国へ遍路の旅

有峰会会長 牧野有峰

お遍路のきっかけは、以前から四国八十八か所を参拝したいと思っておりましたところ、いつも旅行などで一緒にさせていた方があり、同行させていただくことにしました。ところが、九州に大地震が起こり、躊躇していた

ところ、福田有宵先生に「お大師様が貴女が来るのを待っていますよ」と慈悲のお言葉をいただき行く決心をしました。四国八十八か所は人間が持っている八十八の煩惱を消滅させ、しいては大衆の心身救済のために弘法大師が作られたお寺です。

四月二十七日、六名で仲間の方のお車で取手市を午後三時半に出発しました。道路の渋滞もなく、翌朝の三時三十分一番所に到着し、明るくなるのを待ち、朝食を済ませ、八時になると納経所が開き参拝に必要なつげ笠・おいずる・かけ軸等を求め、一番所から始めました。どこの札所でも、初夏の時期、うぐいすが美しい声で歓迎しているかのように、癒されか乍ら遍路に励みました。

今年、八十八か所遍路が開基されて千二百年で、六十一年に一度の周年であるそうで、この年に遍路をするか悟りがたくさんあると聞きました。そして一番所から参拝です。私達は皆、腕に小さな木経を着けて、木経の音を鳴らしながら般若心経を唱え、遍路を始め

した。



**一番札所**  
**霊山寺(りょうぜんじ)**



笠和山(ちくわざん) 一乗院(いちじょういん) 徳島県 本尊 釈迦如来 開基 行基菩薩 真言宗 高野派 本尊の真言 のうまく、さんまんだ、ぼだなん、ばく 詠歌 霊山の釈迦のみ前にめぐりきて よろずの罪も、消え失せにけり 大師は、四国の東北の地を基点にして、右回りの霊場をと考えられて、鳴門へ来錫された時、空中に光明輝く諸仏を感得し大師はその風景から釈迦如来が印度の霊鷲山で

説法している姿を連想され、天竺の霊山を移す意で笠和山霊山寺と名付け持仏の釈迦誕生仏を本尊前に納めた後八十八か所の第一番所と定めたということです。

**十二番札所**  
**焼山寺(しょうざんじ)**



摩盧山(まろざん) 性寿院(しょうじゅいん) 徳島県 本尊 虚空蔵菩薩 開基 役行者小角 真言宗 高野派 本尊の真言 のうぼう、あきやしやきやらばや、おん、ありきやまり、ぼり、そわか。 詠歌 のちの世を、思えば苦行焼山寺 死出や三途の、難所ありとも このお寺さんは、ほてい様はじめ数々の仏像が山門から本堂まで続き、巨杉に囲まれ鳥の音が格別でした。

**十三番札所**  
**大日寺(だいにちじ)**



大栗山(おおぐりざん) 花蔵院(けぞういん) 徳島県 本尊 十一面観音菩薩 真言宗大覚派 開基 弘法大師 本尊の真言 おんまか、きやろりきや、そわか。 詠歌 阿波の国 一の宮とは ゆうだすき かけて頼めや この世のこの世 世 この大日寺には、福田有宵先生のお知り合いの副住職で木川隆正先生がいらつしやるということでしたが、残念ながら出張でお留守でした。宿坊もありましたので伺いましたところ連休のためお休みでした。美味しいみかんをいただいて参りました。

**二十一番札所**  
**大龍寺(たいりゅうじ)**



舎心山(しゃしんざん) 常住院(じょうじゅういん) 徳島県 本尊 空虛蔵菩薩 開基 弘法大師 真言宗 高野派 本尊の真言 のうぼう、あきやしやきやらばや、おん、ありきやまり、ぼり、そわか。 詠歌 大竜の常にそむぞやげに岩屋舎心聞持は守護のためなり 四国山脈の西南端にある海拔六百メートルの広大な寺領全域を千余年の巨杉が覆っているスケールの大きな寺であり、俗称・西の高野山と言われています。寺まではロープウェイで行き、素晴らしい景色で観光地のよう

らば一字を建立せよ」と告げられた、寺はその後元亀天正年間の近火にあって焼失。現在の堂宇は、明治年代の再建だそうです。

**二十二番札所**  
**平等寺(びょうどうじ)**



白水山(はくすいざん) 医王院(いおういん) 徳島県 本尊 薬師如来 開基 弘法大師 真言宗 高野派 本尊の真言 おんころころせんたりまとうぎそわか 詠歌 平等に隔てのなきと聞く時はあら頼もしき仏とぞみる 弘法大師四十二歳の時、この地に未錫し諸人の厄除けを祈願されていると空中に瑞雲がたなびくのを感じ、そのたなびきの中に梵字が出現、梵字を加持すると不思議にも薬師如来の尊像が感じられ、大師は急いで供える水を求めて井戸を掘り湧き出た水は乳白色の水であり大師は頓着せず、その水で沐浴修行された後に薬師如来像を刻んで本尊とし常塔を建立して、二十番となりました。

三十一番札所 竹林寺(ちくりんじ)



五台山(ごだいざん) 金色院(こんじきいん)

高知県

本尊 文殊大菩薩

開基 行基菩薩 真言宗

智山派

本尊の真言 おん あら

はしゃのう

詠歌 南無文殊 三世諸

仏の 母と聞く 吾も子

心 乳こそほしけれ

このお寺さんは明治初年廃仏棄釈令で荒廃していたが船岡芳信という人が再興明治三十七年に本尊の文殊菩薩が国宝の指定を、文殊堂は寛永年間の

建造ということで特別保護建造物に指定されています。寺の周りは、青々とした樹木それに厚い苔が大変美しく京都を匂わせていました。次回はのんびり和服姿で堪能したいねと友人と話しました。

三十一番札所は私の守り本尊でもありました。

三十二番札所 禅師峰

寺(ぜんじぶじ)

三十三番札所 雪隠寺(せつげいじ)

三十二番、三十三番の間には桂浜があり、有名な坂本龍馬の銅像があります。観たかったのですが、時間の都合で綺麗な海岸を車窓から眺めながら通過しました。

ここで有名な「坊さんかんざし」の話をします。

この寺(三十一番の寺)

脇坊妙高寺の僧純信と五台山下のいかけ屋の娘お馬とのロマンスは「よさこい節」で有名です。安政二年(一八五五)二人は駆け落ちして讃岐でつかまり、純信は追放されて伊予川の江で寺子屋の師匠となり、お馬は須崎の床屋のお預けの身から大工の寺崎米之助の妻となったそうです。

四十五番札所 岩屋寺(いわやじ)

本尊の真言 のうまくさんまんだばざらだんせんだまかろしやだそはたやうんたらたかんまん詠歌 大聖の祈る力のげに岩屋 石の中にも極楽ぞある

巨岩が本尊になっていて、大師堂より小さい本尊が二体あり木像の方はお山に閉じ込めてあり、お山全体が本尊となつて

います。巨岩の下にはたくさんのピンクのシヤクナゲが満開で見事でした。



五岳山(ごがくざん) 誕生院(たんじょういん)

香川県

本尊 薬師如来

開基 弘法大師 真言宗

善通寺派総本山

本尊の真言 おんころころせんだりまとうぎそはか

寺と号し、真言宗善通寺の総本山であり、弘法大師ご誕生の霊蹟といふこととです。

八十九メートルの戒壇巡りがあります。仁王門をくぐれば、西院本坊の御影堂があり、その地下に能満所願の本尊をお祀りした戒壇巡りがり、真つ暗な中を左手で壁をなでながら八十九メートルを行く。だんだん怖くなり「南無大師遍照金剛」が自然に口から出る、中程の大師がお生まれになつた下の所に祭壇が設けられてあり、その御灯明の明るさでホツとしました。

四国札所は、どこも本堂とお大師さまがありま

す。八十八か所のお寺さんは、階段ばかりで、きつい階段でした。どこのお寺さんもご立派で感動するばかりです。

お遍路中は、五月の連休の最中にもかかわらず道路の渋滞もなく、天候にも恵まれ、八十八か所終えることが出来、帰り道は高野山へ寄ることに

なりました。高野山では五月五日祭りのこともあり、たくさんの方で賑わっており団体さん

もいました。高野山のお寺さんでは、修行中の若いお坊さんの姿もたくさん見かけました。そのお姿の凛々しさに感動しました。近くにはお坊さんの高校があるというお話

でした。

高野山の参拝も済ませ、道路も順調で七泊九日のお遍路の旅も無事帰宅することが出来ました。

振り返りますと福田有宵先生には温かく背中を押していただき仲間たちの優しいご指導のお陰で大過なく敢行出来ました。またお大師さまに見守られていたように心も軽くなりました。今回の参拝は生涯忘れることのできない素敵な遍路の旅だったと感じております。

初めてご遍路される方は、事前の下調べと、あまり高齢にならないうち

がお勧めです。

合掌

〇八月六日(土) 江東区砂町文化センター「サマーフェスティバル」にて無料鑑定会を行います。

〇九月二十五日(日) 第二十七回三鷹国際フェスティバル」無料鑑定会に出演します。

〇九月二十五日(日) 第二十七回三鷹国際フェスティバル」無料鑑定会に出演します。

〇九月二十五日(日) 第二十七回三鷹国際フェスティバル」無料鑑定会に出演します。

〇九月二十五日(日) 第二十七回三鷹国際フェスティバル」無料鑑定会に出演します。

寺さんでは、修行中の若いお坊さんの姿もたくさん見かけました。そのお姿の凛々しさに感動しました。近くにはお坊さんの高校があるというお話

でした。

高野山の参拝も済ませ、道路も順調で七泊九日のお遍路の旅も無事帰宅することが出来ました。

振り返りますと福田有宵先生には温かく背中を押していただき仲間たちの優しいご指導のお陰で大過なく敢行出来ました。またお大師さまに見守られていたように心も軽くなりました。今回の参拝は生涯忘れることのできない素敵な遍路の旅だったと感じております。

初めてご遍路される方は、事前の下調べと、あまり高齢にならないうち

がお勧めです。

お遍路中は、五月の連休の最中にもかかわらず道路の渋滞もなく、天候にも恵まれ、八十八か所終えることが出来、帰り道は高野山へ寄ることに

なりました。高野山では五月五日祭りのこともあり、たくさんの方で賑わっており団体さん

もいました。高野山のお寺さんでは、修行中の若いお坊さんの姿もたくさん見かけました。そのお姿の凛々しさに感動しました。近くにはお坊さんの高校があるというお話

でした。

高野山の参拝も済ませ、道路も順調で七泊九日のお遍路の旅も無事帰宅することが出来ました。

振り返りますと福田有宵先生には温かく背中を押していただき仲間たちの優しいご指導のお陰で大過なく敢行出来ました。またお大師さまに見守られていたように心も軽くなりました。今回の参拝は生涯忘れることのできない素敵な遍路の旅だったと感じております。

初めてご遍路される方は、事前の下調べと、あまり高齢にならないうち

がお勧めです。

合掌

〇八月六日(土) 江東区砂町文化センター「サマーフェスティバル」にて無料鑑定会を行います。

〇九月二十五日(日) 第二十七回三鷹国際フェスティバル」無料鑑定会に出演します。

〇九月二十五日(日) 第二十七回三鷹国際フェスティバル」無料鑑定会に出演します。

〇九月二十五日(日) 第二十七回三鷹国際フェスティバル」無料鑑定会に出演します。

〇九月二十五日(日) 第二十七回三鷹国際フェスティバル」無料鑑定会に出演します。

寺さんでは、修行中の若いお坊さんの姿もたくさん見かけました。そのお姿の凛々しさに感動しました。近くにはお坊さんの高校があるというお話

でした。

高野山の参拝も済ませ、道路も順調で七泊九日のお遍路の旅も無事帰宅することが出来ました。

振り返りますと福田有宵先生には温かく背中を押していただき仲間たちの優しいご指導のお陰で大過なく敢行出来ました。またお大師さまに見守られていたように心も軽くなりました。今回の参拝は生涯忘れることのできない素敵な遍路の旅だったと感じております。

初めてご遍路される方は、事前の下調べと、あまり高齢にならないうち

がお勧めです。

お遍路中は、五月の連休の最中にもかかわらず道路の渋滞もなく、天候にも恵まれ、八十八か所終えることが出来、帰り道は高野山へ寄ることに

なりました。高野山では五月五日祭りのこともあり、たくさんの方で賑わっており団体さん

もいました。高野山のお寺さんでは、修行中の若いお坊さんの姿もたくさん見かけました。そのお姿の凛々しさに感動しました。近くにはお坊さんの高校があるというお話

でした。

高野山の参拝も済ませ、道路も順調で七泊九日のお遍路の旅も無事帰宅することが出来ました。

振り返りますと福田有宵先生には温かく背中を押していただき仲間たちの優しいご指導のお陰で大過なく敢行出来ました。またお大師さまに見守られていたように心も軽くなりました。今回の参拝は生涯忘れることのできない素敵な遍路の旅だったと感じております。

初めてご遍路される方は、事前の下調べと、あまり高齢にならないうち

がお勧めです。

合掌

〇八月六日(土) 江東区砂町文化センター「サマーフェスティバル」にて無料鑑定会を行います。

〇九月二十五日(日) 第二十七回三鷹国際フェスティバル」無料鑑定会に出演します。

〇九月二十五日(日) 第二十七回三鷹国際フェスティバル」無料鑑定会に出演します。

〇九月二十五日(日) 第二十七回三鷹国際フェスティバル」無料鑑定会に出演します。

〇九月二十五日(日) 第二十七回三鷹国際フェスティバル」無料鑑定会に出演します。

左記の方からご寄付を頂戴致しました。(敬称略) 齋藤幸子

事務局長 伊藤璃香

〇横小路紬華先生「吉方位のお水取りと霊水」

〇伊藤浩美先生「人生の道を求めて」

〇福田有宵先生「先祖供養とお水取りについて」

五月の例会には六十四名の方が参加されました。

事務局 伊藤璃香



編集後記

皆様方からの原稿をお待ちいたしております。占例など大歓迎です!

暑さ厳しい日が続きますのでお身体お大事なさってください。

編集長